

総合スポーツセンター 運営形態決定!

正式名称は「春日市総合スポーツセンター」に!
温水プール等も含めて全て指定管理者制度を導入



総合スポーツセンター

現在建設が進んでいる（仮称）総合スポーツセンターの適正な管理を図るため、料金の設定、指定管理者による管理の範囲など、必要な事項を定める「春日市スポーツセンター条例の一部改正」や、関連する補正予算について審議した。名称を正式に「春日市総合スポーツセンター」とし、運営形態については、温水プールを含む総合スポーツセンター全施設と、西スポーツセンター・野球場を指定管理とするもの。

採決では、改正条例に対する反対意見や、債務負担行為に対する修正案が出されるなど活発な議論が行われ、賛成多数で各議案を可決した。

平成26年第2回(6月)定例会は6月6日に招集され、6月23日までの18日間の会期で開催されました

12議案並びに報告、意見書、決議などを審議

一般会計の予算規模は約321億円に

平成26年度一般会計補正予算(第2号)において、歳入歳出ともに、2687万円を増額する議案を審査し可決した。主な歳出は社会保障・税番号システムの変更に伴うシステム整備事業。自殺予防対策。木造戸建て住宅耐震改修補助金交付事業。学校

評価研究事業。コミュニティ・スクール研究事業。幼児期の運動に関する指導参考資料作成事業。図書館システム構築業務などである。これにより、市の一般会計予算は約321億円となった。

議員提案による

「薬物乱用防止に関する決議」を可決

先に起きた市立小学校長の覚せい剤取締法違反(所持)による逮捕は、正にあつてはならない事件であり、多くの市民の皆様にご迷惑とご心配をおかけした。

一般質問においても多くの議員がこの問題を取り上げ、重大な関心を持つて取り組んでいる。

市は、今回の事件を契機として、薬物乱用の防止に向けた取り組みの重要性を市民に訴え、本年を本市における薬物乱用防止啓発強調年と位置づけ、全市的な取り組みを展開し

ていく。

市議会としては、薬物乱用の防止を決議し、今後、関係機関と連携し、薬物乱用根絶に取り組んでいくこととした。



市教職員758人の薬物乱用防止宣言